



Gaming is in the Details

RL2450H / RL2450HT

ユーザー ガイド

著作権

免責

BenQ Corporation は、明示的または暗示的を問わず、本書の内容に関して、特に保証、商業的可能性、特定目的への適合性に関しては、いかなる表明または保証もいたしません。また、BenQ Corporation は、お客様に改訂または修正の通知を行う義務を負うことなく、本書を改訂したり、本書の内容を随時修正する権利を有します。

電源についての安全対策



モニタが最高の性能で動作するよう、また、モニタをできるだけ長くお使いいただくために、以下の安全上の注意点に従ってください。

- AC プラグは、AC 電源から取り外すことができます。
- 電源コードは、プラグ着脱可能な装置では電源停止デバイスとして機能します。電源コンセントは、本装置の近くに設置され、すぐに利用できる状態になっている必要があります。
- 本製品は、ラベルのマークに示されている電源のタイプで動作させる必要があります。利用可能な電源のタイプが不明の場合は、取扱店または地域の電気会社にお問い合わせください。
- 必ず H03VV-F または H05VV-F、2G または 3G、0.75mm^2 相当またはそれ以上の専用電源コードをご使用ください。

お手入れと清掃

- お手入れ・清掃を行う前に、必ず壁のコンセントからモニタの電源コードをはずしてください。LCD モニタの表面を、けば立ちのない非研磨性の布でふきます。液体、エアゾール、ガラスクリーナは使用しないでください。
- キャビネット背面または上面のスロットと開口部は換気用のものです。これらの部分をふさいだり、覆ったりしないようにしてください。モニタは、ラジエータまたは熱源の近くや上部に置かないでください。また、適切な換気が提供されている場所に設置してください。
- 本製品内に異物を押し込んだり、液体をこぼしたりしないようにしてください。

保守

本製品の保守をご自身で行わないでください。カバーを開けたり取り外したりすると、高電圧部分やその他の危険な部分に触れるおそれがあります。上記の誤用、または落下や取り扱いミスなどその他の事故については、認定サービス担当者に連絡を取り、保守を依頼してください。

BenQ ecoFACTS

BenQ has been dedicated to the design and development of greener product as part of its aspiration to realize the ideal of the "Bringing Enjoyment 'N Quality to Life" corporate vision with the ultimate goal to achieve a low-carbon society. Besides meeting international regulatory requirement and standards pertaining to environmental management, BenQ has spared no efforts in pushing our initiatives further to incorporate life cycle design in the aspects of material selection, manufacturing, packaging, transportation, using and disposal of the products. BenQ ecoFACTS label lists key eco-friendly design highlights of each product, hoping to ensure that consumers make informed green choices at purchase. Check out BenQ's CSR Website at http://csr.BenQ.com/ for more details on BenQ's environmental commitments and achievements.



目次

はじめに

以下のものが揃っていることを確認してください。万一、不足しているものや破損しているものがあった場合には、製品をお買い上げいただいた販売店まで直ちにご連絡ください。

BenQ LCD モニタ	RL2450H RL2450HT
モニタ スタンド (RL2450H 用)	
モニタベース (RL2450H 用)	
モニタベース (RL2450HT 用)	

クイック スタート ガイド	
CD-ROM	
電源コード (地域によって製品図が異なる場合があります。)	
ビデオケーブル：D-Sub	
ビデオケーブル：DVI-D (別売りアクセサリ)	
ビデオケーブル：HDMI (別売りアクセサリ)	


モニタの梱包材料は、将来搬送する必要があるときのために捨てずに保管しておいてください。専用の発泡スチロールは、移動中にモニタを保護するのに適しています。


製品とアクセサリ類は、小さいお子様の手の届かない場所に保管してください。

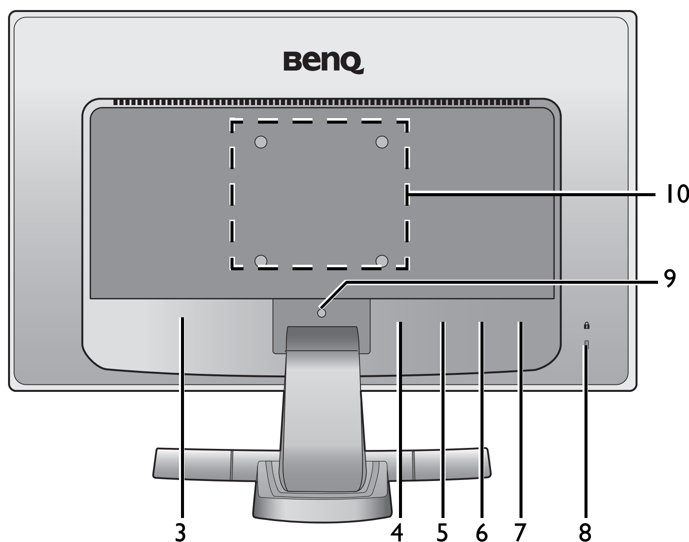
モニタの外観

前面ビュー



1. コントロールボタン
2. 電源ボタン

背面ビュー



3. AC 電源入力ジャック
4. ヘッドフォンジャック
5. HDMI ソケット
6. DVI-D ソケット
7. D-Sub ソケット
8. Kensington ロックスロット
9. 取り外しボタン
10. 壁設置用穴



- 上記の例はモデルにより異なります。
- 地域によって製品図が異なる場合があります。

モニタハードウェアの取り付け方法（RL2450H）

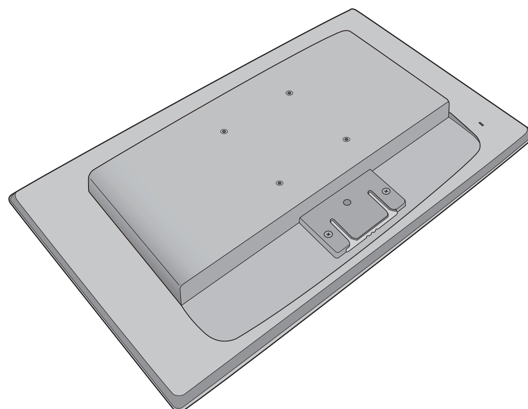


- 高さ調整スタンド（HAS）が付いている場合は、その取り付け方法については 14 ページの「高さ調整スタンド付きモニタの組み立て（RL2450HT）」を参照してください。
- モニタベースの取り付けや取り外しを行う場合には、平らで物や突起物がない安定した場所の上で行って下さい。モニタが転倒・落下して怪我や故障の原因となります。
  またモニタベースの取り付けや取り外しを行う際には、必ずモニタの電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電や故障の原因となります。

1. モニタベースを設置します。



モニタが破損しないように注意してください。スクリーン面をホッチキスやマウスなどの異物にぶつけると、ガラスが割れたり、LCD サブストレートが破損したりします。このような事故については保証が適用されません。モニタを机の上で滑らせると、モニタの周りやコントロールにキズがついたり、破損したりします。

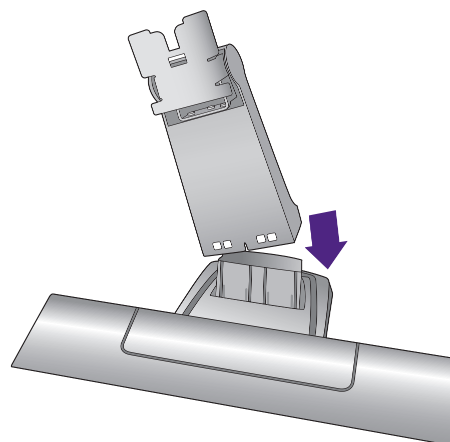


モニタのお手入れは、モニタとスクリーンを保護するために安定した平らな場所で行い、ショック防止用にモニタの梱包袋などの柔らかい素材を置いてください。

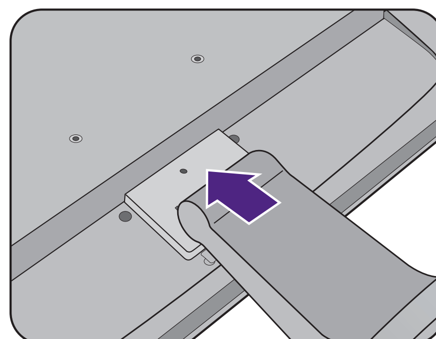
スクリーンを下向きにして、ショック防止用の素材を置いた平面な場所にゆっくりと寝かせてください。

図に示すとおり、モニタベースにモニタスタンドを取り付けます。

ゆっくりと引き上げてみて、しっかりと設置されたことを確認します。

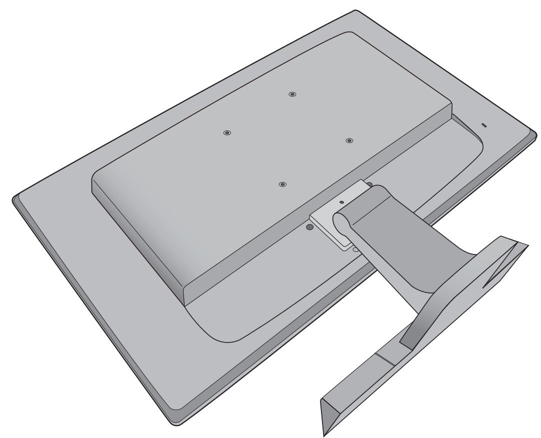


しっかりと固定されるとカチッという音がします。
スタンドアームとモニタの向きを合わせて、カチッという音がしてロックされるまで押し込んでください。



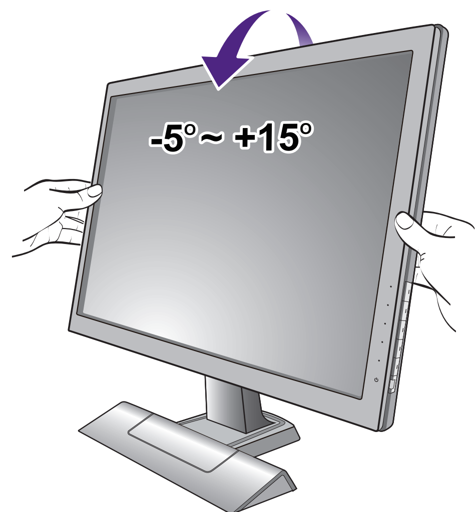
ゆっくりと引き上げてみて、しっかりと設置されたことを確認します。

ゆっくりとモニタを持ち上げて、机の上に正面を向くように設置します。





照明の反射を最小限に留めるために、モニタの位置とスクリーンの角度を調整してください。



2. PC ビデオケーブルを接続します。



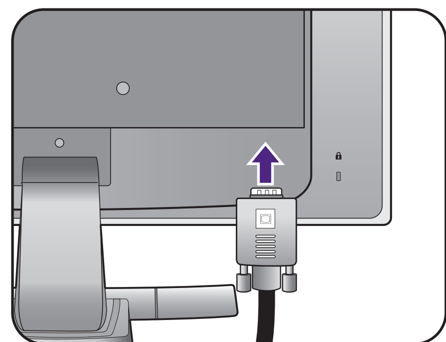
同一 PC に DVI-D ケーブルと D-Sub ケーブルを同時に使用しないでください。これらのケーブルは、2 台の異なる PC と適切なビデオシステムがある場合のみ同時に使用することができます。

D-Sub ケーブルの接続

D-Sub ケーブルのフェライトフィルタが付いていない方のプラグをモニタのビデオソケットに接続します。フェライトフィルタが付いている方のプラグをコンピュータのビデオソケットに接続します。

使用中にプラグが外れないように、すべてのネジをしっかり締めてください。

あるいは

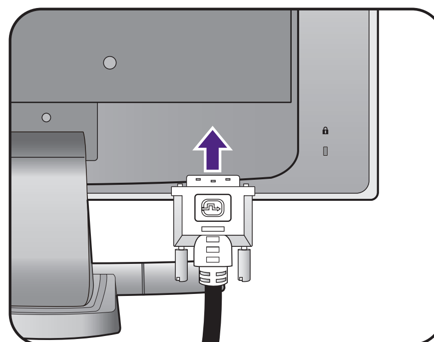


DVI-D ケーブルの接続

DVI-D ケーブルのフェライトフィルタが付いていない方のプラグをモニタのビデオソケットに接続します。フェライトフィルタが付いている方のプラグをコンピュータのビデオソケットに接続します。

使用中にプラグが外れないように、すべてのネジをしっかり締めてください。

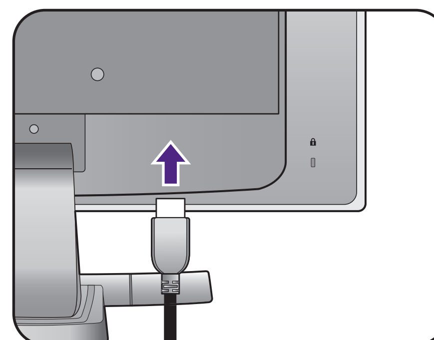
または



HDMI ケーブルの接続

HDMI ケーブルのプラグを、モニタの HDMI ポートに接続します。ケーブルのもう片端を、デジタル出力装置の HDMI ポートに接続します。

または





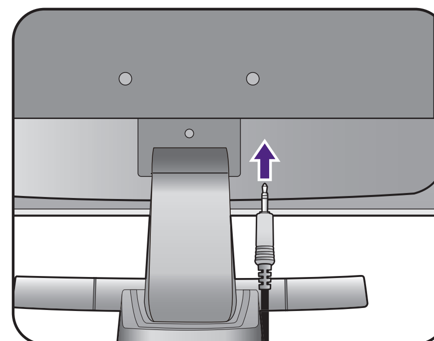
複数のビデオ通信方式がある場合は、接続を行う前に、各ビデオケーブルの画質を考慮して入れてください。
- 良い画質：HDMI / DVI-D
- 標準画質：D-Sub



製品に同梱されているビデオケーブルと右図に示すソケットは、お住まい地域で販売される製品によって異なる場合があります。

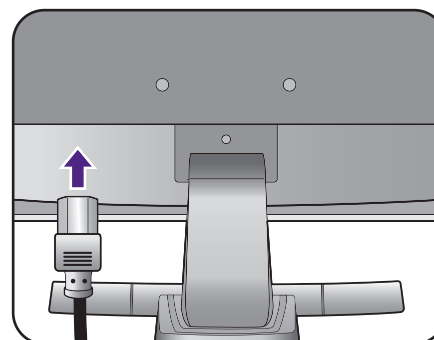
3. ヘッドセットを接続します。

またモニタの背面にあるヘッドフォンジャックにヘッドフォンを接続することもできます。

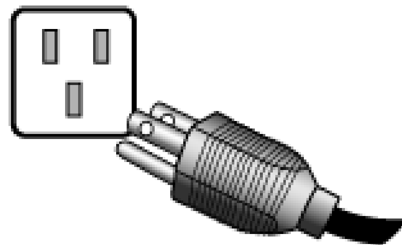


4. モニタに電源ケーブルを接続します。

モニタの背面の 〜 と記載されたソケットに電源コードをつなぎます。この時点ではまだコンセントにプラグを差し込まないでください。



5. 電源に接続し、電源をオンにします。



電源コードをコンセントに差し込んで、電源を入れます。



地域によって製品図が異なる場合があります。



モニタの電源ボタンを押して、モニタをオンにします。

コンピュータの電源も入れて、21 ページの「BenQ モニタの特長を生かすために」の手順にしたがって、モニタソフトをインストールしてください。



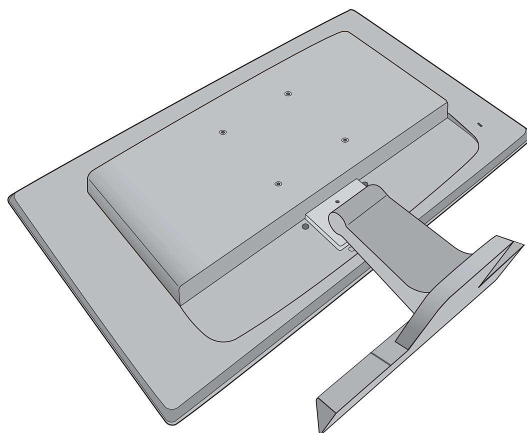
本製品を長くお使いいただくため、電源の操作はコンピュータを使用して行ってください。

スタンドベースの取り外し

1. モニタと作業場所の準備。

電源ケーブルを外す前にモニタの電源を切ります。モニタ信号ケーブルを外す前に、コンピュータの電源も切ります。

ベースを取り外す際モニタとスクリーンにキズがつかないように、机の上の物を一旦別の場所に移します。次にクッションとしてタオルなどの柔らかい物の上にスクリーンを下向きに置きます。

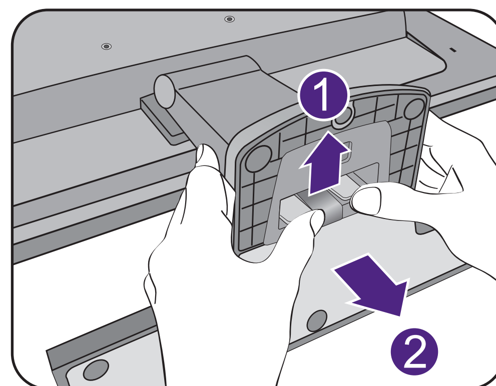




モニタが破損しないように注意してください。スクリーン面をホッチキスやマウスなどの異物にぶつけると、ガラスが割れたり、LCD サブストレートが破損したりします。このような事故については保証が適用されません。モニタを机の上で滑らせると、モニタの周りやコントロールにキズがついたり、破損したりします。

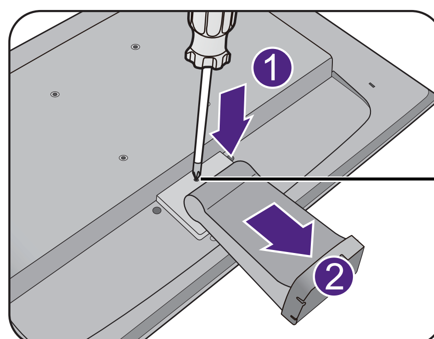
2. ロッククリップを上に押し上げて、モニタスタンド アームからモニタベースを外してください。

ロッククリップを上に押し上げて、スタンド アームからスタンド ベースを外してください。



3. モニタスタンドを外します。

ネジ回しなど、先が尖ったものをモニタスタンドのアーム上部の穴に挿入して、穴の内部にある取り外しボタンを押します。モニタスタンドを後ろへ引っ張ります。



モニタ取り付けキットの使用方法

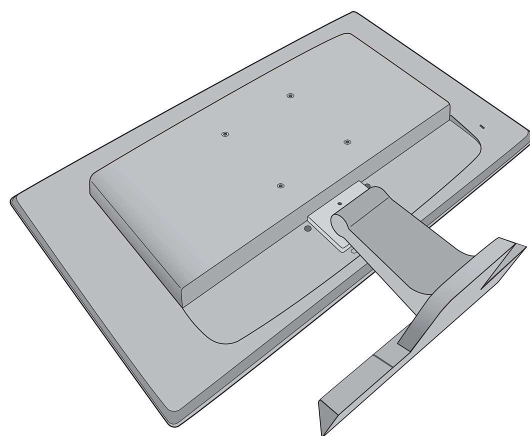
LCD モニタの背面には 100mm のパターンを持つ VESA 規格のマウントがあります。これを使ってモニタを壁に設置することができます。モニタ取り付けキットの取り付けを始める前に、以下の注意事項をお読みください。

注意事項

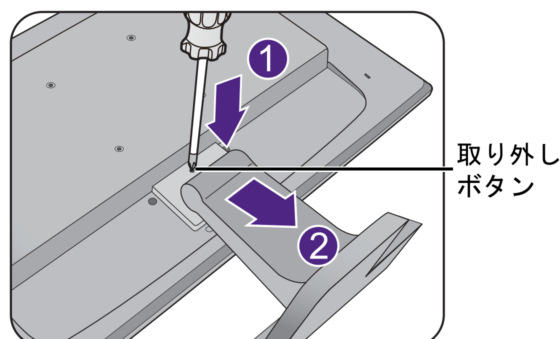
- モニタおよびモニタ取り付けキットは、平らな壁面に取り付けてください。
- 壁の材質がしっかりしていて、モニタの重量に耐えられることを確認してください。
- ケーブルを LCD モニタから外すときには、まずモニタのスイッチと電源を切ってください。

1. モニタスタンドを外します。

スクリーンを下向きにして、ショック防止用の素材を置いた平面な場所に寝かせてください。



12 ページの「スタンドベースの取り外し」に示す図を参考に、モニタベースを外します。



2. 購入された壁設置用ブラケットの説明書をお読みになり、モニタを正しく設置してください。

高さ調整スタンド付きモニタの組み立て（RL2450HT）

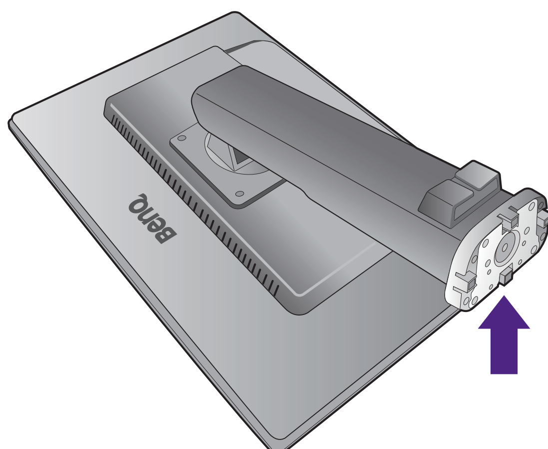
モニタベースの取り付け



- モニタベースの取り付けや取り外しを行う場合には、平らで物や突起物がない安定した場所の上で行って下さい。モニタが転倒・落下して怪我や故障の原因となります。
  またモニタベースの取り付けや取り外しを行う際には、必ずモニタの電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電や故障の原因となります。
- 次の画像は参照用です。出入力ジャックの有無は、購入されたモデルにより異なります。



モニタが破損しないように注意してください。スクリーン面をホッチキスやマウスなどの異物にぶつけると、ガラスが割れたり、LCD サブストレートが破損したりします。このような事故については保証が適用されません。モニタを机の上で滑らせると、モニタの周りやコントロールにキズがついたり、破損したりします。



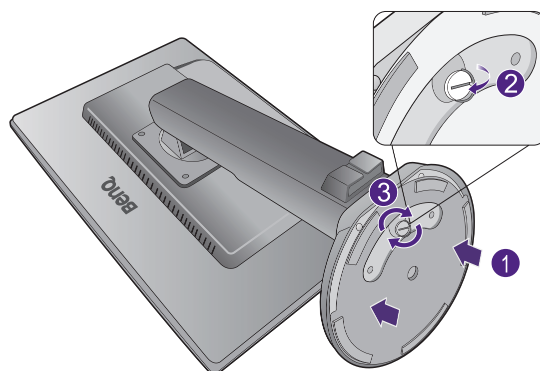
モニタのお手入れは、モニタとスクリーンを保護するために安定した平らな場所で行い、ショック防止用にモニタの梱包袋などの柔らかい素材を置いてください。

スクリーンを下向きにして、ショック防止用の素材を置いた平面な場所にゆっくりと寝かせてください。

モニタをしっかりと持ち、モニタのスタンドアームを上に引き上げてください。

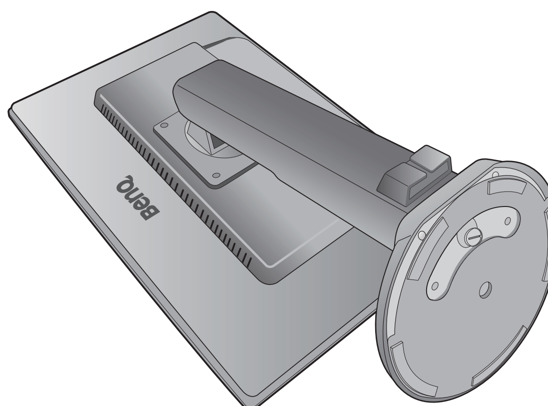
スタンドベースのソケットとスタンドアームの端を揃えて、しっかりと収まるまで押してください。

図に示すとおり、モニタベースの底面にある蝶ネジを締めてください。

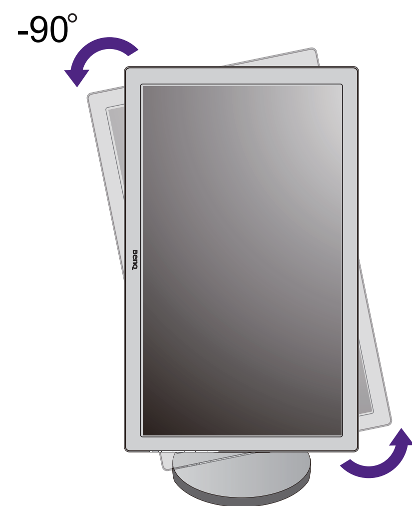


ゆっくりと引き上げてみて、しっかりと設置されたことを確認します。

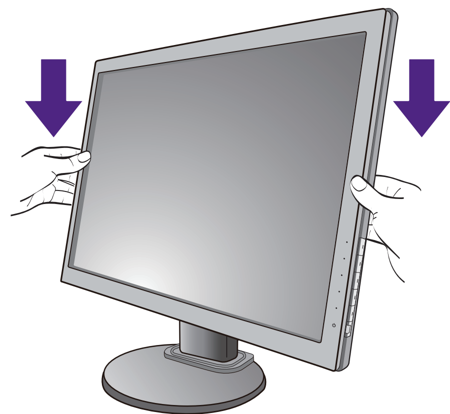
ゆっくりとモニタを持ち上げて、机の上に正面を向くように設置します。



モニタを最高の高さになるまで伸ばします。次にモニタを傾けます。次に図に示すとおり、モニタを左回りに 90 度回転させます。

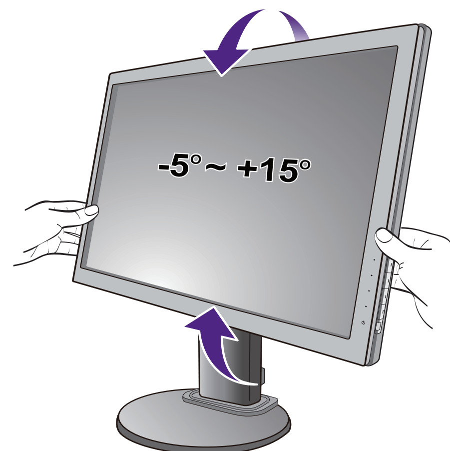


モニタスタンドの高さを調整したい場合があるかもしれません。詳細は、17 ページの「モニタの高さ調節」を参照してください。





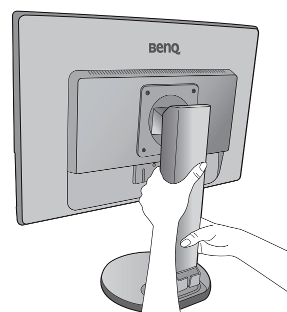
照明の反射を最小限に留めるために、モニタの位置とスクリーンの角度を調整してください。



ベースの取り外し



モニタを正しく移動させるには、モニタを最大の高さまで引き伸ばし、図に示すとおりモニタの上に片手を置き、もう片方の手をスタンドの下に手を置きます。

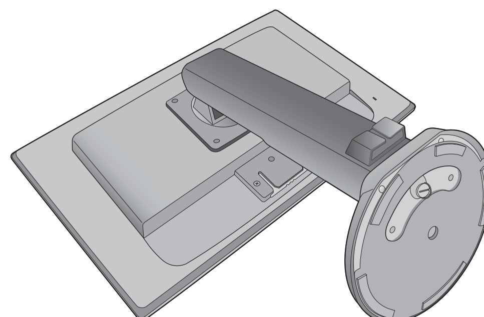


1. モニタと作業場所の準備。

電源ケーブルを外す前にモニタの電源を切ります。モニタ信号ケーブルを外す前に、コンピュータの電源も切ります。

ディスプレイをゆっくりと持ち上げて、スタンドを最高の高さまで引き伸ばします。

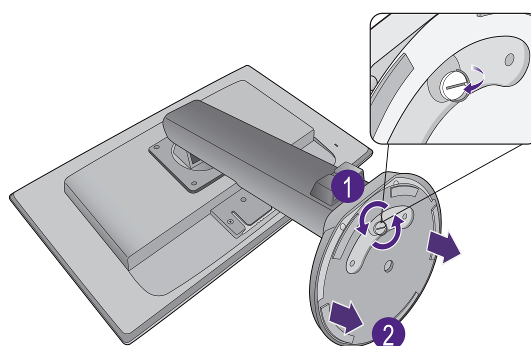
ベースを取り外す際モニタとスクリーンにキズがつかないように、机の上の物を一旦別の場所に移します。次にクッションとしてタオルなどの柔らかい物の上にスクリーンを下向きに置きます。





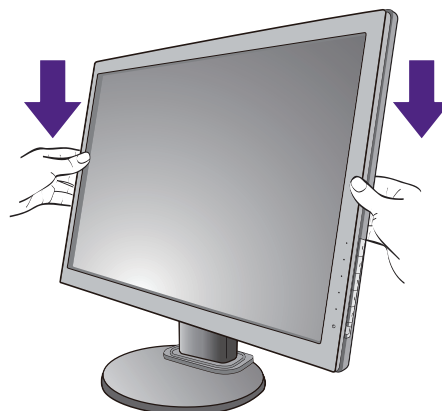
モニタが破損しないように注意してください。スクリーン面をホッチキスやマウスなどの異物にぶつけると、ガラスが割れたり、LCD サブストレートが破損したりします。このような事故については保証が適用されません。モニタを机の上で滑らせると、モニタの周りやコントロールにキズがついたり、破損したりします。

2. 図に示すとおり、モニタベースの底面にある蝶ネジを外し、モニタベースを外します。



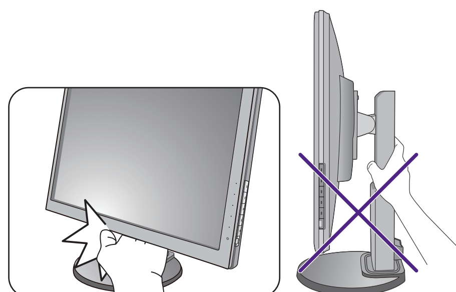
モニタの高さ調節

モニタの高さを調整するには、モニタの左右両側を持ち、モニタを下げたり、好きな高さに引き上げたりします。

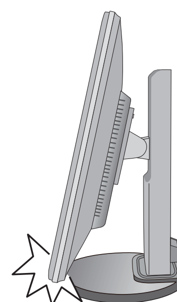




- 高さ調整用スタンドの上部または下部、またはモニタの底面にハンドルを取り付けると、モニタを上げ下げするときにケガをする恐れがありますので、これらの位置には取り付けないでください。この作業を行う間は、お子様をモニタに近付けないでください。



- モニタがポートレート モードのときに高さ調整を行いたい場合は、ワイドスクリーンによりモニタを最低の高さまで下げることはできませんのでご注意ください。



モニタの回転

1. ディスプレイを回転させせます。

モニタを縦方向に回転させるには、まずディスプレイを 90 度回転させる必要があります。

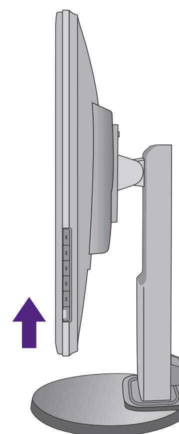
デスクトップを右クリックして、ポップアップメニューから**画面の解像度**を選択します。**方向**で**ポートレート**を選択し、設定を適用します。



ＰＣのオペレーティングシステムによって、スクリーンの方向を調整する手順が異なります。詳しくは、オペレーティングシステムのヘルプドキュメントを参照してください。

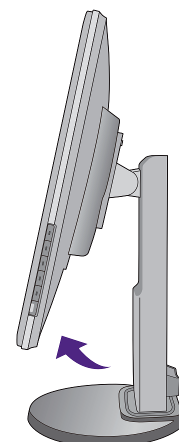
2. モニタを最高の高さまで引き伸ばし、傾斜させせます。

ディスプレイをゆっくりと持ち上げて、最高の高さまで引き伸ばします。次にモニタを傾けます。





モニタを横置きモードから縦置きモードに回転できるように、モニタが縦方向に伸びるはずです。



3. 図に示す通り、モニタを右回りに 90 度回転させせます。





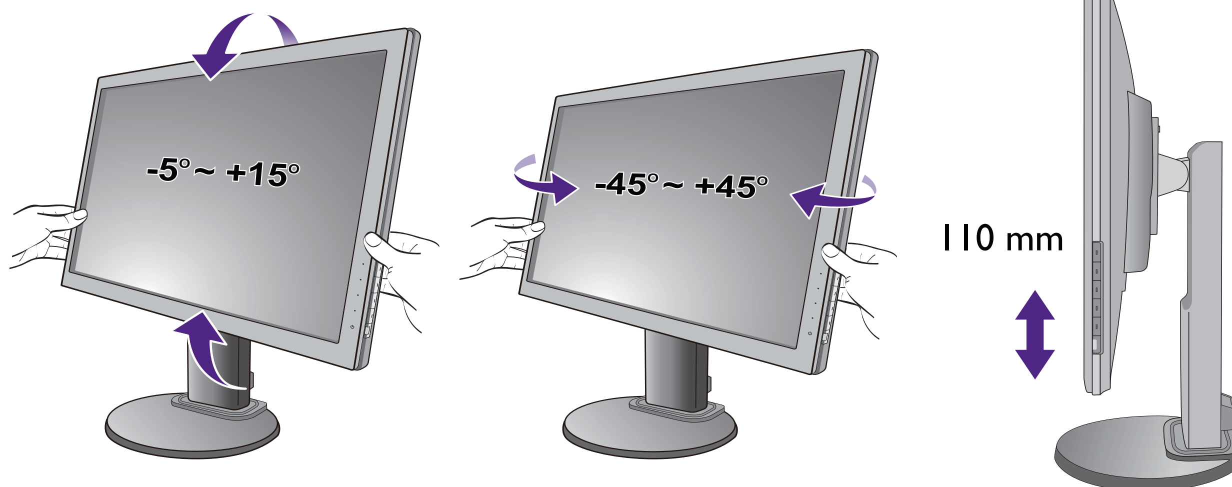
回転させるときに LCD ディスプレイの角がモニタベースに当たらないように、まずモニタを最高の高さまで引き上げてください。
モニタの周囲はケーブルを接続するのに十分なスペースを保ち、周囲には物を置かないでください。モニタを回転させた後は、ケーブル クリップを使ってケーブルを整理する必要があるかもしれません。

4. モニタを適切な角度に調整します。



表示角度の調整

モニタの位置は、角度 -5° から +15° まで、左右に計 90°、高さ 110 mm の範囲で調整することができます。



モニタ取り付けキットの使用方法

LCD モニタの背面には 100mm のパターンを持つ VESA 規格のマウントがあります。これを使ってモニタを壁に設置することができます。モニタ取り付けキットの取り付けを始める前に、以下の注意事項をお読みください。

注意事項：

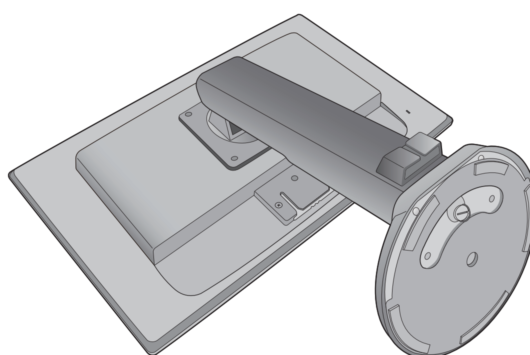
- モニタおよびモニタ取り付けキットは、平らな壁面に取り付けてください。
- 壁の材質がしっかりしていて、モニタの重量に耐えられることを確認してくだ さい。
- ケーブルを LCD モニタから外すときには、まずモニタのスイッチと電源を切ってください。

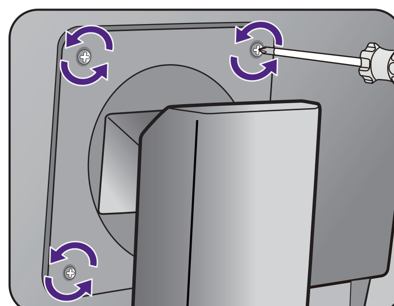
1. モニタスタンドを外します。

スクリーンを下向きにして、ショック防止用の素材を置いた平面な場所に寝かせてください。

プラスドライバを使って、モニタスタンドをモニタに固定しているネジを緩めてください。ヘッドが磁石になっているドライバを使用すると、ネジを紛失するのを防止することができます。

モニタスタンドを後ろへ引っ張ります。







将来モニタスタンドを使用する可能性がある場合は、モニタベース、スタンド、ネジは安全な場所に保管しておいてください。

2. 購入された壁設置用ブラケットの説明書をお読みになり、モニタを正しく設置してください。

BenQ モニタの特長を生かすために

BenQ LCD モニタの利点を最大限に生かすには、BenQ LCD Monitor CD-ROM に格納されている BenQ LCD Monitor ドライバをインストールする必要があります。

BenQ LCD モニタを接続、インストールする状況に応じて、BenQ LCD Monitor ドライバをインストールする手順が変わります。これらの状況とは、使用する Microsoft Windows のバージョン、モニタを接続し、ドライバをインストールするコンピュータが新しいものであるかどうか（既存のモニタドライバが存在しないかどうか）、または既存のドライバを新しいモニタ用にアップグレードするのかどうか（既存のモニタドライバが存在する）などを指します。

いずれの場合にしても、次回コンピュータの電源を入れるとき（コンピュータにモニタを接続した後）、Windows は自動的に新しい（または異なる）ハードウェアを識別し、新しいハードウェアが検出され、ウィザードが起動します。

モニタモデルを選択するように要求されるところまで、ウィザードの指示にしたがってください。このとき、**ディスク使用**ボタンをクリックして BenQ LCD Monitor CD-ROM を挿入し、適切なモニタモデルを選択します。自動インストール（新しいモニタ）またはアップグレード（既存のモニタ）についての詳細と、詳しい手順は、次を参照してください。

- 22 ページの「新しいコンピュータにモニタをインストールするには」。
- 23 ページの「既存のコンピュータでモニタをアップグレードするには」。



- ログインするためにユーザー名とパスワードの入力が必要な Windows コンピュータにモニタドライバをインストールするには、管理者の権限でログオンするか、管理者グループのメンバーとしてログオンしてください。また、セキュリティ設定が施されたネットワークにコンピュータを接続している場合は、ネットワークポリシーによりコンピュータにドライバをインストールできない場合があります。
- 購入された製品のモデル名は、モニタの背面の仕様ラベルに記載されています。

新しいコンピュータにモニタをインストールするには

ここでは、まだモニタドライバが何もインストールされていない新しいコンピュータで BenQ LCD モニタドライバを選択し、インストールする手順を説明します。この手順は未使用のコンピュータで、BenQ LCD モニタが初めて接続するモニタである場合にのみしたがってください。



すでに他のモニタを接続したことがある、使用済みのコンピュータに BenQ LCD モニタを接続する場合は（すでにモニタドライバがインストールされている場合）この手順にしたがうことはできません。「既存のコンピュータでモニタをアップグレードするには」の手順にしたがってください。

1. セクション 21 ページの「BenQ モニタの特長を生かすために」の手順にしたがってください。

   Windows が起動すると、新しいモニタが自動的に検出され、ウィザードが起動します。**ハードウェアドライバのインストール**オプションが表示されるまで、画面の指示にしたがってください。
2. コンピュータの CD ドライブに BenQ LCD Monitor CD-ROM を挿入します。
3. **デバイスに最適なドライバを検索する**オプションをチェックし、**次へ**をクリックします。
4. CD-ROM drives オプションをチェックし（その他のオプションはチェックしない）、**次へ**をクリックします。
5. ウィザードが正しいモニタ名を選択したことを確認し、その後で**次へ**をクリックします。
6. **完了**をクリックします。
7. コンピュータを再起動します。



購入されたモデルに適合するドライバについては、次の表を参照してください。

ドライバ ファイル	適合モデル
RL2450H	RL2450H /RL2450HT

既存のコンピュータでモニタをアップグレードするには

ここでは、Microsoft Windows コンピュータ上で既存のモニタドライバを手動で更新する方法を説明します。現時点では、Windows Vista および Windows 7 オペレーティングシステム（OS）と互換性があることが確認されています。



このモデルの BenQ LCD モニタドライバは他のバージョンの Windows とも問題なく作動するはずですが、本書作成段階において他のバージョンの Windows でこれらのドライバのテストが完了しておらず、正常な作動を保証することはできません。

モニタドライバをインストールするには、BenQ LCD Monitor CD-ROM から使用するモニタモデル用の適切な情報ファイル（.inf）を選択し、Windows に相当するドライバを CD からインストールさせる必要があります。必要な作業は自動的に行われます。Windows には自動的に作業を行い、ファイル選択とインストール手順をガイドしてくれるデバイスドライバのアップグレード ウィザードが用意されています。

詳細は、下記を参照してください。

- 24 ページの「Windows 7 システムへのインストール方法」。
- 25 ページの「Windows Vista システムへのインストール方法」。

Windows 7 システムへのインストール方法

1. **画面のプロパティ**を開きます。

   スタート→ **コントロールパネル** → **ハードウェアとサウンド** → **デバイスとプリンタ**を選択し、メニューからモニタの名前を右クリックします。

   または、デスクトップを右クリックし、**個人設定** → **ディスプレイ** → **デバイスとプリンタ**を選択し、メニューからモニタの名前を右クリックします。

2. メニューから**プロパティ**を選択します。
3. **ハードウェア**タブをクリックします。
4. **汎用 PnP モニタ**をクリックした後で、**プロパティ**ボタンをクリックします。
5. **ドライバ**タブをクリックし、**ドライバの更新**ボタンをクリックします。
6. コンピュータの CD ドライブに BenQ LCD Monitor CD-ROM を挿入します。
7. **ドライバ ソフトウェアの更新**ウィンドウで **コンピュータからドライバ ソフトウェアを探す**オプションを選択します。
8. **参照**をクリックし、次のディレクトリを参照してください：d:\BenQ_LCD\Driver\（d には CD-ROM ドライブに割り当てられた文字が表示されます）。



CD ドライブのドライブ名は、お使いになるシステムによって上の例とは異なる場合があります。D:、E:、F: かもしれませんし、それ以外の文字かもしれません。

9. 表示されるドライバリストから正しいモニタ名（フォルダ）を選択し、**次へ**をクリックします。

   コンピュータに適切なドライバファイルがコピーされ、インストールされます。

10. **閉じる**をクリックしてください。

    ドライバのアップデートが完了すると、コンピュータを再起動するよう要求される場合があります。

Windows Vista システムへのインストール方法

1. **画面の設定**を開きます。

   デスクトップを右クリックして、ポップアップメニューから**個人設定** を選択します。

   表示とサウンドをカスタマイズウィンドウから**画面の設定**を選択します。

   すると**画面の設定**ウィンドウが開きます。

2. **詳細設定**ボタンをクリックします。

   すると**一般 PnP モニタ**のプロパティウィンドウが開きます。

3. **モニタ**タブをクリックし、次に**プロパティ**ボタンをクリックします。
4. **ユーザーアカウント コントロール**ウィンドウで**続行**をクリックします。
5. **ドライバ**タブをクリックし、**ドライバの更新**ボタンをクリックします。
6. コンピュータの CD ドライブに BenQ LCD Monitor CD-ROM を挿入します。
7. **ドライバ ソフトウェアの更新**ウィンドウで **コンピュータからドライバ ソフトウェアを探す**オプションを選択します。
8. **参照**をクリックし、次のディレクトリを参照してください：d:\BenQ_LCD\Driver\（d には CD-ROM ドライブに割り当てられた文字が表示されます）。



CD ドライブのドライブ名は、お使いになるシステムによって上の例とは異なる場合があります。D:、E:、F: かもしれませんし、それ以外の文字かもしれません。

9. 表示されるドライバリストから正しいモニタ名（フォルダ）を選択し、**次へ**をクリックします。

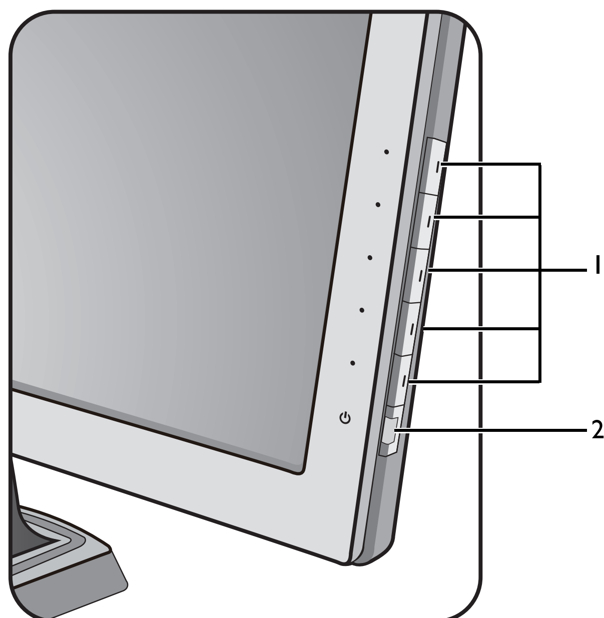
   コンピュータに適切なドライバファイルがコピーされ、インストールされます。

10. **閉じる**をクリックしてください。

    ドライバのアップデートが完了すると、コンピュータを再起動するよう要求される場合があります。

モニタの調整

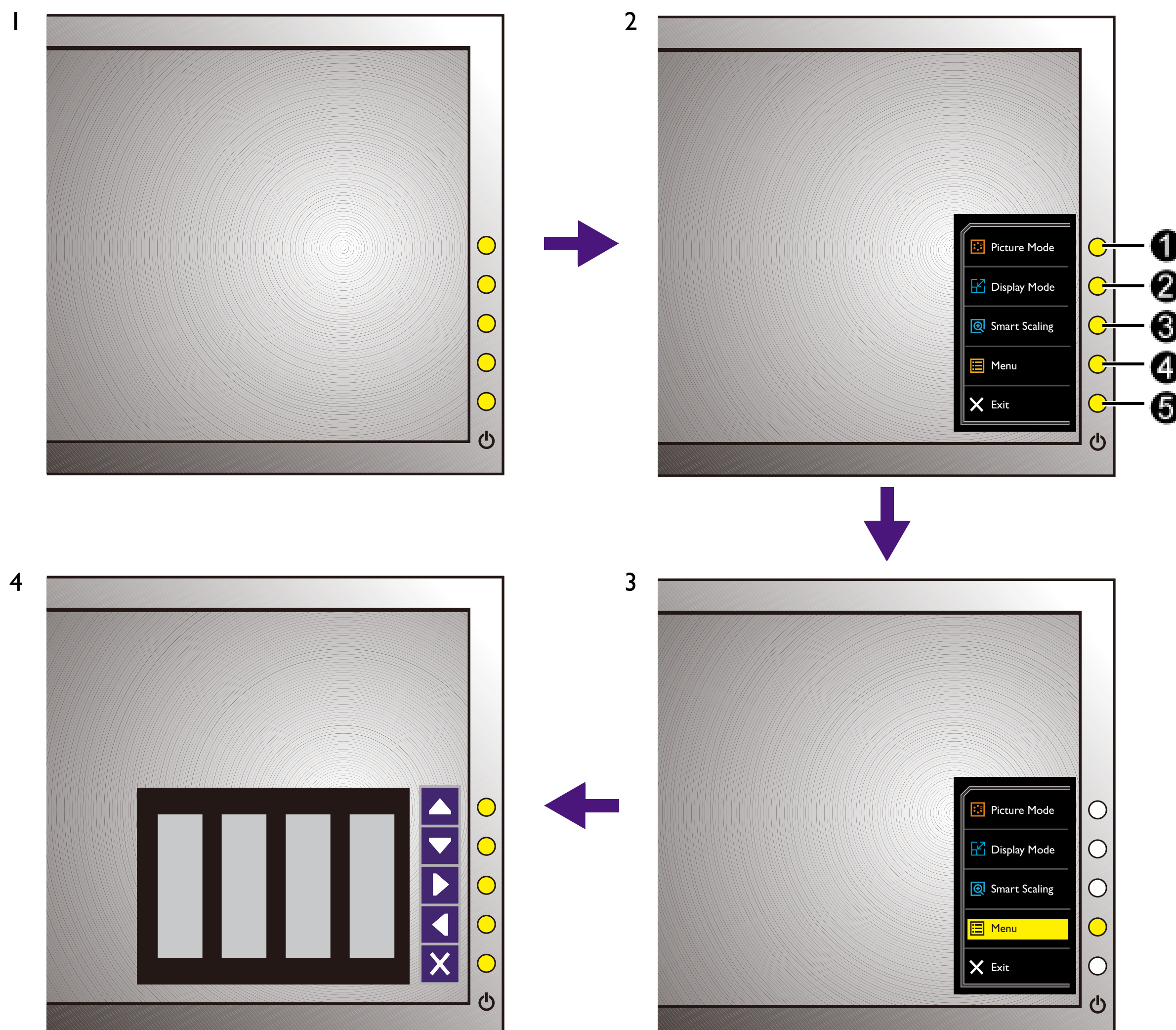
コントロール パネル



番号	名前	説明
1.	コントロールキー	画面に表示されている機能やメニューアイテムにアクセスします。それぞれのキーの右側にあります。
2.	電源キー	電源を ON/OFF します。

基本メニュー操作

すべての OSD（On Screen Display）メニューには、コントロールキーでアクセスできます。モニタの設定はすべて OSD で行うことができます。



1. コントロールキーをどれでも押します。
2. するとホットキー メニューが表示されます。上 3 個のコントロールはカスタムキーで、特定機能にアクセスするよう設計されています。
3. メニューを選択してメインメニューを開きます。
4. メインメニューでコントロールキーの横にあるアイコンに従って、調整または選択します。メニューオプションについての詳細は、32 ページの「メインメニューのナビゲート」を参照してください。

番号	ホットキー メニューの OSD	メインメニューの OSD アイコン	機能
❶	**カスタムキー 1**	▲	• デフォルトでは、これは**画像モード**用のホットキーです。デフォルト設定を変更するには、29 ページの「ホットキーのカスタマイズ」を参照してください。 • 上 / 設定を上げます。
❷	**カスタムキー 2**	▼	• デフォルトでは、これは**画面モード**用のホットキーです。デフォルト設定を変更するには、29 ページの「ホットキーのカスタマイズ」を参照してください。 • 下 / 設定を下げます。
❸	**カスタムキー 3**	▶ / ✓	• デフォルトでは、このキーは**スマート スケーリング**のホットキーです。デフォルト設定を変更するには、29 ページの「ホットキーのカスタマイズ」を参照してください。 • サブメニューが開きます。 • メニューアイテムを選択します。
❹	メニュー	◀	• メインメニューを有効にします。 • 前のメニューに戻ります。
❺	終了	✕	OSD を終了します。



- OSD = オンスクリーン ディスプレイ。
  ホットキーはメインメニューが表示されていないときにしか使用できません。ホットキーはキーを何も押さなければ数秒で消えます。
- OSD コントロールをロック解除するには、キーをどれでも 10 秒間押し続けてください。

画像の最適化



このモニタのデフォルトの画像モードは、RTS ゲーム向けに設計された **RTS** です。他の画像モードを使用したい場合は、**画像の詳細設定**を選択して**画像モード**で設定を変更します。

アナログ入力（D-Sub）から画像を最適化するために最も簡単な方法は、**自動調整機能**を使うことです。**表示**と**自動調整**を選択し、現在画面に表示されている画像を最適化してください。



デジタル（DVI または HDMI）ケーブルを使ってデジタルビデオ出力をモニタに接続すると、モニタが自動的に最高画像を表示するため**自動調整**機能は無効になります。



自動調整機能を使用するときには、コンピュータに接続したグラフィックカードがモニタ本来の解像度に設定されていることを確認してください。

メニューからは、いつでも画面の設定を手動で調整することができます。スクリーンテスト画像ユーティリティでは、画面の色、グレースケール、ラインのグラデーションなどを確認することができます。

1. CD-ROM からテストプログラム auto.exe を起動してください。変更結果を調べるには、これが最も良い方法です。OS のデスクトップなど、他のイメージを使用することもできます。それでも、auto.exe を起動するとテストパターンが表示されますので、auto.exe を使用されるようお薦めします。
2. コントロールキーをどれでも押して、ホットキーメニューを開きます。**メニュー**を選択してメインメニューを開きます。
3. **表示**と**自動調整**を選択します。
4. 縦状にノイズ（カーテン効果のように縦にゆらゆらする線）が走る場合は、**周波数**を選択してノイズが消えるまで調整してください。
5. 水平状にノイズが走る場合は、**フェーズ**を選択してノイズが消えるまで調整してください。

ホットキーのカスタマイズ

上 3 つのコントロールキー（カスタムキーとも呼びます）はホットキーとして機能し、あらかじめ設定された機能を直接実行できます。これらのキーのデフォルト設定は別の機能に変更することができます。

1. コントロールキーをどれでも押してホットキーメニューを開き、**メニュー**を押してメインメニューを開きます。
2. **システム**を選択します。
3. 変更したいカスタムキーを選択します。
4. サブメニューでこのキーに割り当てたい機能を選択します。設定が完了すると、メッセージが表示されます。

自分のゲームモードを設定する

このモニタには、ゲームに適したいくつかのプリセット画像モードがあります。必要に応じて関連する表示設定を変更して保存しておくと、自分のゲームモードに簡単に切り替えることができます。

1. 別の OSD メニューで関連する表示設定を調整します。ゲームモード用にカスタマイズできる設定は、次のとおりです。
    - 「輝度」(35 ページをお読みください)
    - 「コントラスト」(35 ページをお読みください)
    - 「鋭さ」(35 ページをお読みください)
    - 「Black eQualizer」(35 ページをお読みください)
    - 「ガンマ」(36 ページをお読みください)
    - 「色温度」(36 ページをお読みください)
    - 「色相」(36 ページをお読みください)
    - 「彩度」(36 ページをお読みください)
    - 「AMA」(36 ページをお読みください)
    - 「インスタント モード」(36 ページをお読みください)
    - 「画像モード」(37 ページをお読みください)
    - 「画面モード」(38 ページをお読みください)
    - 「DCR」(38 ページをお読みください)
    - 「スマート スケーリング」(39 ページをお読みください)
    - 「スマート フォーカス」(40 ページをお読みください)
    - 「音量調整」(42 ページをお読みください)
    - 「ミュート」(42 ページをお読みください)
2. すべての設定が完了したら、**設定を保存**を選択し、ゲームモードの 1 つとして保存します。
3. ゲームモードに切り替えるには、**画像の詳細設定**と**画像モード**を選択し、ステップ 2 で保存したゲームモードを選択します。好きな表示設定はすべて一度に適用されます。

画面モードの調整

16:9 以外の縦横比、24" 以外のサイズの画像を表示するには、モニタで画面モードを調整します。

1. コントロールキーをどれでも押してホットキーメニューを開き、**メニュー**を押してメインメニューを開きます。
2. **画像の詳細設定**と**画面モード**を選択します。
3. 適切な画面モードを選択してください。設定は直ちに反映されます。



まず好きな画面モードに切り替えて、31 ページの「スマート スケーリングを使う」の手順にしたがって表示サイズを調整します。

スマート スケーリングを使う

スマート スケーリングを使用すると、画面をリサイズすることができます。

1. **画像の詳細設定**と**スマート スケーリング**を選択します。
2. 値を調整します。



- カスタムキーの 1 つが**スマート スケーリング**用にあらかじめ設定されている場合は、カスタムキーを押すと直接値を調整できます。
- リサイズした直後は、ディスプレイが一時的に不安定になる場合があります。これは正常な現象であり、製造上の欠陥ではありません。
- **スマート スケーリング**の詳細については、39 ページの「スマート スケーリング」を参照してください。

メインメニューのナビゲート

モニタの設定はすべて OSD で行うことができます。コントロールキーをどれでも押してホットキーメニューを開き、**メニュー**を押してメインメニューを開きます。詳細は、27 ページの「基本メニュー操作」を参照してください。

選択可能なメニューオプションは、入力ソース、機能、および設定により異なる場合があります。使用できないメニュー オプションは、グレー表示されます。使用できないキーは無効になり、それに相当する OSD アイコンも消えます。



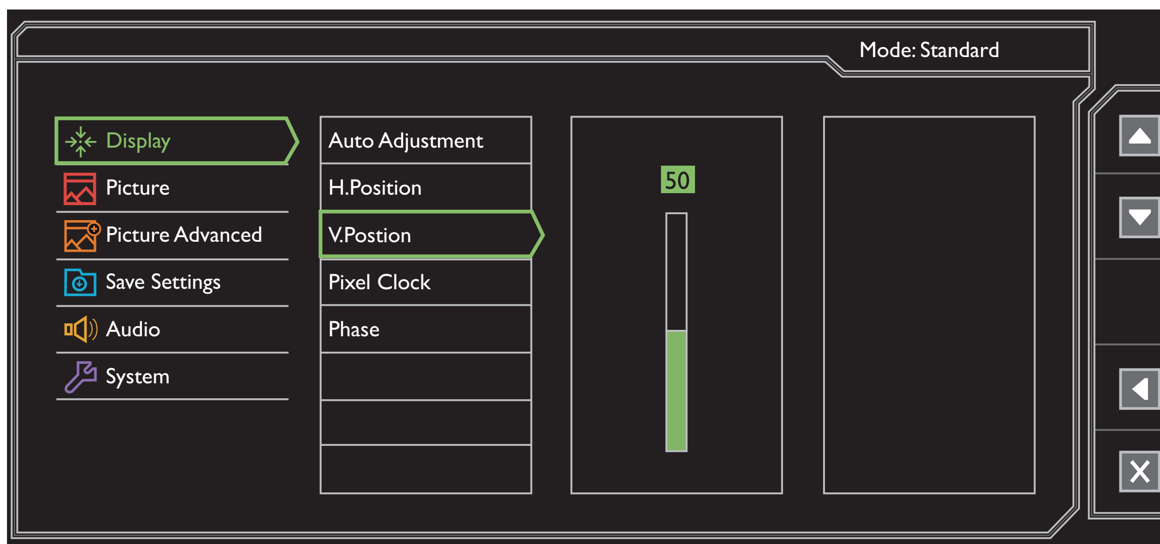
OSD メニュー言語は購入された地域で提供される製品により異なる場合があります。詳細は、**システム**と **OSD 設定**の 44 ページの「言語」を参照してください。

各メニューについての詳細は、次のページを参照してください。

- 33 ページの「表示メニュー」
- 35 ページの「画像メニュー」
- 37 ページの「画像の詳細設定メニュー」
- 41 ページの「設定を保存メニュー」
- 42 ページの「オーディオメニュー」
- 43 ページの「システム メニュー」

表示メニュー

選択可能なメニューオプションは、入力ソース、機能、および設定により異なる場合があります。使用できないメニュー オプションは、グレー表示されます。使用できないキーは無効になり、それに相当する OSD アイコンも消えます。



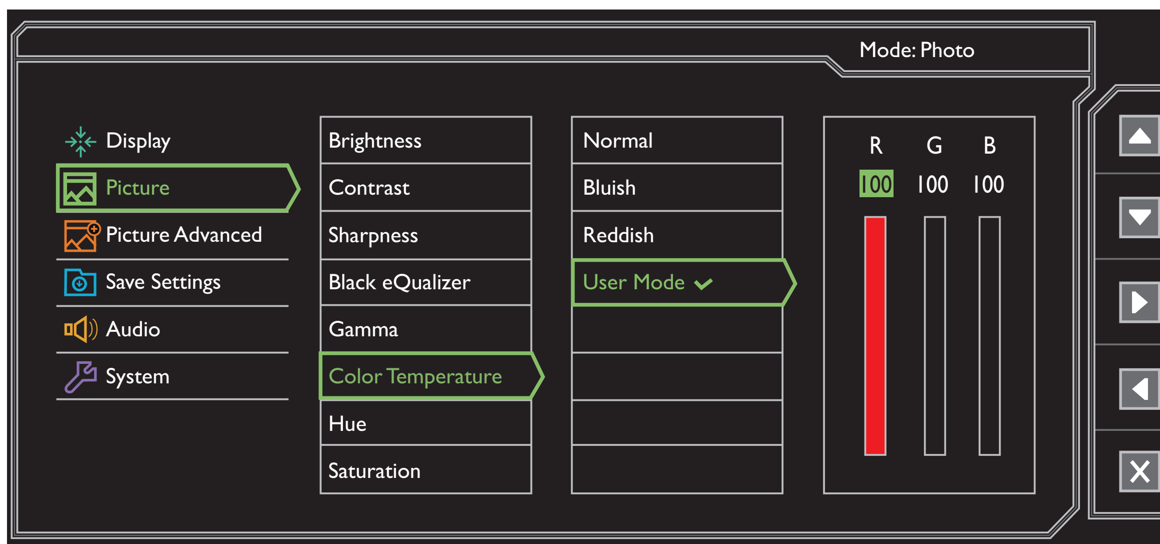
1. ホットキーメニューからメニューを選択します。
2. ▲ または ▼ を使って画面を選択します。
3. ▶ を選択してサブメニューを開き、▲ または ▼ を使ってメニューアイテムを選択します。
4. ▲ または ▼ を使って調整するか、✓ を使って選択を行います。
5. 前のメニューに戻るには、◀ を選択します。
6. メニューを終了するには、✕ を選択します。

アイテム	機能	範囲
自動調整	スクリーン設定を自動的に最適化、調整します。 デジタル入力信号では使用できません。	
水平位置	イメージの水平位置を調整します。	0 から 100
垂直位置	イメージの垂直位置を調整します。	0 から 100
周波数	アナログ入力ビデオ信号と同期を取るように、周波数のタイミングを調整します。 29 ページの「画像の最適化」も参照してください。 デジタル入力信号では使用できません。	0 から 100

アイテム	機能	範囲
フェーズ	アナログ入力ビデオ信号と同期を取るように、周波数のフェーズタイミングを調整します。 29 ページの「画像の最適化」も参照してください。 デジタル入力信号では使用できません。	0 から 63

画像メニュー

選択可能なメニューオプションは、入力ソース、機能、および設定により異なる場合があります。使用できないメニュー オプションは、グレー表示されます。使用できないキーは無効になり、それに相当する OSD アイコンも消えます。



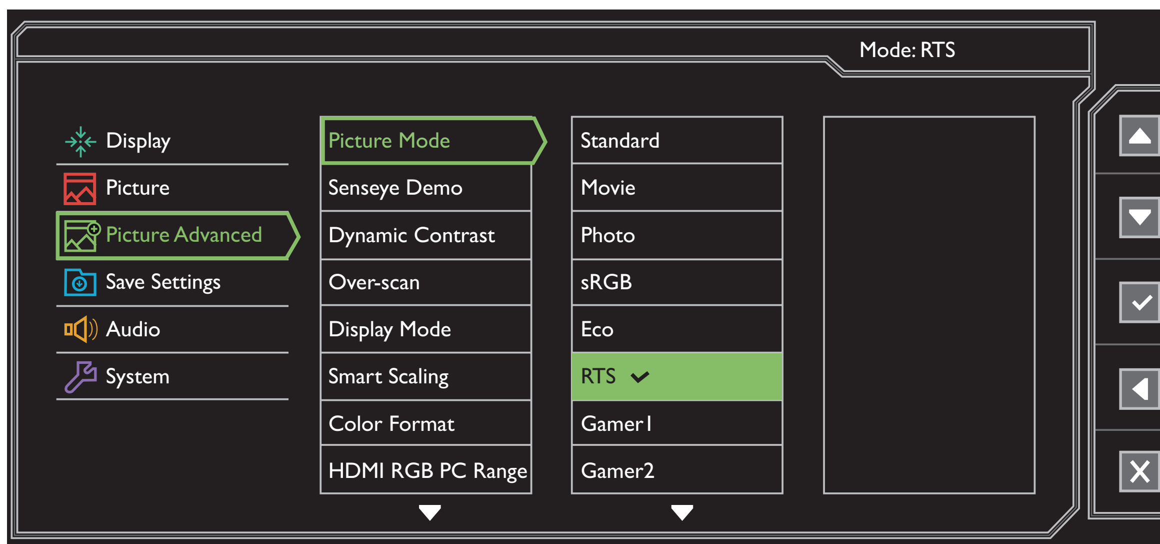
1. ホットキーメニューからメニューを選択します。
2. ▲ または ▼ を使って画像を選択します。
3. ▶ を選択してサブメニューを開き、▲ または ▼ を使ってメニューアイテムを選択します。
4. ▲ または ▼ を使って調整するか、✓ を使って選択を行います。
5. 前のメニューに戻るには、◀ を選択します。
6. メニューを終了するには、✕ を選択します。

アイテム	機能	範囲
輝度	明るいシェードと暗いシェードのバランスを調整します。	0 から 100
コントラスト	暗いエリアと明るいエリアの差を調整します。	0 から 100
鋭さ	被写体の鮮明さを調整します。	1 から 10
Black eQualizer	明るいシェードはそのままに、輝度を上げることにより暗いシェードを引き立てます。 画像が明るすぎたり、あまり暗いシェードが含まれていない場合は、**Black eQualizer** の値を調整してもそれほど画像に変化は見られないかもしれません。	0 から 20

アイテム	機能	範囲
ガンマ	トーンの輝度を調整します。デフォルト値は 3（Windows の標準値）です。	• **ガンマ 1** • **ガンマ 2** • **ガンマ 3** • **ガンマ 4** • **ガンマ 5**
色温度	**標準**：ビデオや静止画を自然な色で表示します。これは工場出荷時の標準値になっています。	
	薄青：画像の色合いを寒色系にします。これは工場設定値を PC 業界標準の白にします。	
	薄赤：画像の色合いを暖色系にします。これは工場設定値を新聞印刷標準の白にします。	
	ユーザー：赤、緑、青の原色を混ぜ合わせることによって、画像の色合いを変更します。次に赤、緑、青メニューに進み、設定を変更します。 この値を下げると画像の各色が変わります。たとえば、青のレベルを下げると、黄色がかった色合いになります。緑のレベルを下げると、画像はマゼンタに近い色になります。	• **赤** （0 から 100） • **緑** （0 から 100） • **青** （0 から 100）
色相	人間の目に映る色の濃淡を調整します。	0 から 100
彩度	色の純度を調整します。	0 から 100
色のリセット	カスタム設定色をデフォルト値に戻します。	• **はい** • **いいえ**
AMA	LCD パネルのグレーレベル応答時間を短縮化します。	• **オン** • **オフ**
インスタント モード	入力の遅延を縮小するために、画像処理を調整します。リアル タイムでゲームを楽しめます。 画質を最適化するには、ソースがインターレース ビデオの場合は**インスタント モード**を無効にしてください。ビデオ ソースの解像度を確認するには、モニタで **システム** と **情報**を選択します。	• **オン** • **オフ**

画像の詳細設定メニュー

選択可能なメニューオプションは、入力ソース、機能、および設定により異なる場合があります。使用できないメニュー オプションは、グレー表示されます。使用できないキーは無効になり、それに相当する OSD アイコンも消えます。



1. ホットキーメニューからメニューを選択します。
2. ▲ または ▼ を使って**画像の詳細設定**を選択します。
3. ▶ を選択してサブメニューを開き、▲ または ▼ を使ってメニューアイテムを選択します。
4. ▲ または ▼ を使って調整するか、✓ を使って選択を行います。
5. 前のメニューに戻るには、◀ を選択します。
6. メニューを終了するには、✕ を選択します。

<table>
<tr><th>アイテム</th><th colspan="2">機能</th><th>範囲</th></tr>
<tr><td rowspan="5">画像モード</td><td colspan="2">画面に表示する画像の種類に最もあったモードを選択します。

デフォルト設定は RTS です。必要であれば、設定を変更します。</td><td rowspan="5"></td></tr>
<tr><td>標準</td><td>基本的な PC アプリケーションで使用します。</td></tr>
<tr><td>動画</td><td>動画を見るときに使用します。</td></tr>
<tr><td>写真</td><td>静止画を見るときに使用します。</td></tr>
<tr><td>sRGB</td><td>プリンタやデジタルカメラなどの周辺機器との色を一致させます。</td></tr>
</table>

アイテム	機能		範囲
	エコ	実行中のプログラムの輝度を最小限にすることで電力消費量を下げ、節電します。	
	RTS	RTS（Real-time strategy）ゲームをするときに選択します。	
	ゲーマー 1	カスタマイズした画面設定を適用します。 ゲームモードの設定については、30 ページの「自分のゲームモードを設定する」を参照してください。	
	ゲーマー 2		
	ゲーマー 3		
デモ	画像モードで選択したモードを使って、画像をプレビューします。スクリーンは 2 つのウィンドウに分割されます。左側のウィンドウにはスタンダードモードで画像が表示され、右側のウィンドウには指定したモードで画像が表示されます。		• オン • オフ
DCR	入力画像を自動的に検出し、コントラストを最適化する機能です。		0 から 5
Overscan	入力イメージがやや拡大されます。イメージの周りに不要なノイズが見られるときに、この機能を使用するとこのようなノイズを消去することができます。 入力ソースが HDMI か D-Sub（コンポーネントから変換された VGA）の場合にのみ使用できます。		• オン • オフ
画面モード	この機能は 16:9 以外の縦横比の画像を幾何学的に歪ませることなく、正しく表示させます。 入力信号ソースによって、**画面モード**の下のオプションが変わります。 **画像モード**で行った選択によって、異なる**画面モード**オプションがプリセットされます。設定は必要に応じて変更してください。		
	全画面	入力画像をスクリーンに合わせて表示します。縦横比が 16:9 の画像に適しています。	
	縦横比	入力画像は幾何学的歪みを生じさせないように、できるだけ画面いっぱいに表示されます。	
	1:1	入力画像はサイズを変更せずに、そのまま最高解像度で表示されます。	
	17"（4:3）	入力画像を縦横比 4:3 の 17" モニタに表示するように表示させます。	

アイテム	機能		範囲
	19"（4:3）	入力画像を縦横比 4:3 の 19" モニタに表示するように表示させます。	
	19" 幅（16:10）	入力画像を縦横比 16:10 の 19" 幅モニタに表示するように表示させます。	
	21.5"（16:9）	入力画像を縦横比 16:9 の 21.5" モニタに表示するように表示させます。	
	22" 幅（16:10）	入力画像を縦横比 16:10 の 22" 幅モニタに表示するように表示させます。	
	23" 幅（16:9）	入力画像を縦横比 16:9 の 23" 幅モニタに表示するように表示させます。	
スマート スケーリング	目的に合わせて画面のサイズを調整します。 **画面モード**が **17"**、**19" 幅**または **21.5" 幅**の場合は、最後の 2 つのスケーリング設定 （入力ソースの解像度が異なります）に素早くアクセスできるように、これらが保存されます。 **画面モード**が **1:1** （入力ソースの解像度が 1920 x 1080 以下の場合）の場合は、最も新しい 5 個のスケーリング設定（1 つの入力 ソースで異なる解像度）が保存されます。		
カラーフォーマット	検出されたビデオ信号に基づいて、カラースペース（**RGB** または **YUV**）を決定します。 モニタに色が正しく表示されない場合は、**カラーフォーマット**を手動で設定する必要があるかもしれません。 入力ソースが HDMI の場合は、カラーフォーマットは選択できません。**カラーフォーマット**は入力ビデオソースを基に、自動的に設定されます。		
	RGB	• PC からの D-Sub（VGA）入力ソース用です。 • DVI 入力ソース用です。	
	YUV	ビデオデバイスから D-Sub（VGA から変換したコンポーネント）入力ソース用です。	
HDMI RGB PC 範囲	カラースケールの範囲を決定します。接続した HDMI デバイスの RGB 範囲の設定と一致するオプションを選択してください。		• **RGB**（0 から 255） • **RGB**（16 から 235）

アイテム	機能		範囲
スマートフォーカス	この機能は、YouTube の動画やオンライン ゲームなど、特定のコンテンツにフォーカスして、あるエリアをハイライトします。		
	サイズ	ハイライト エリアのサイズを決定します。	• 小 • 大 • オフ
	水平位置	ハイライト エリアの水平位置を調整します。	0 から 100
	垂直位置	ハイライト エリアの垂直位置を調整します。	0 から 100
	スケーリング	ハイライト エリアをスケールします。	0 から 100

設定を保存メニュー

選択可能なメニューオプションは、入力ソース、機能、および設定により異なる場合があります。使用できないメニュー オプションは、グレー表示されます。使用できないキーは無効になり、それに相当する OSD アイコンも消えます。

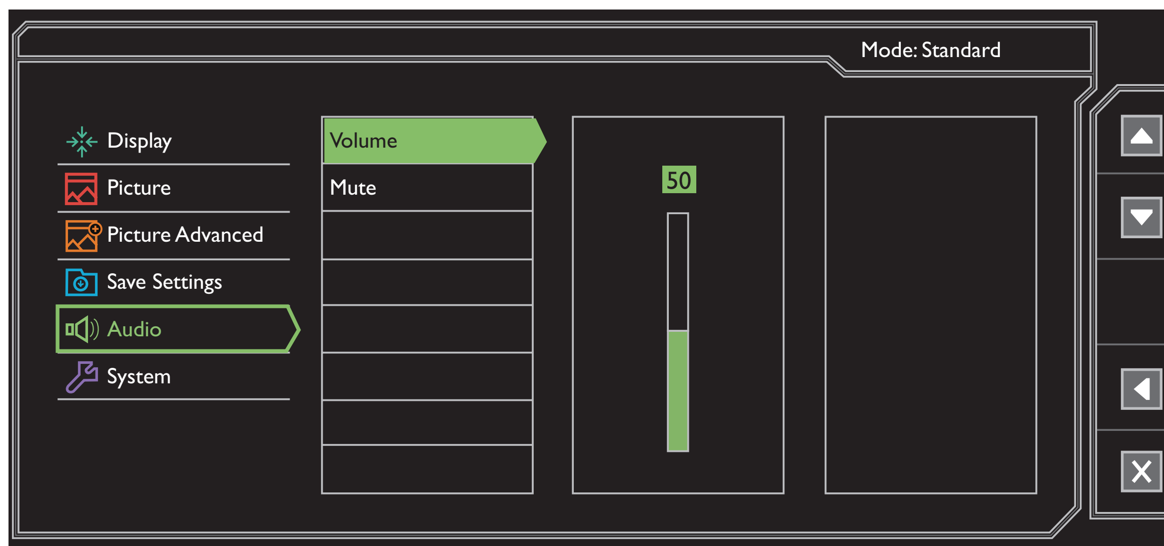


1. ホットキーメニューからメニューを選択します。
2. ▲ または ▼ を使って**設定を保存**を選択します。
3. ▶ を選択してサブメニューを開き、▲ または ▼ を使ってメニューアイテムを選択します。
4. ✓ を使って選択します。
5. 前のメニューに戻るには、◀ を選択します。
6. メニューを終了するには、✕ を選択します。

アイテム	機能	範囲
ゲーマー 1 **ゲーマー 2** **ゲーマー 3**	カスタマイズした画面の新しい設定を保存します。 ゲームモードを適用する方法については、30 ページの「自分のゲームモードを設定する」を参照してください。	-

オーディオメニュー

選択可能なメニューオプションは、入力ソース、機能、および設定により異なる場合があります。使用できないメニュー オプションは、グレー表示されます。使用できないキーは無効になり、それに相当する OSD アイコンも消えます。

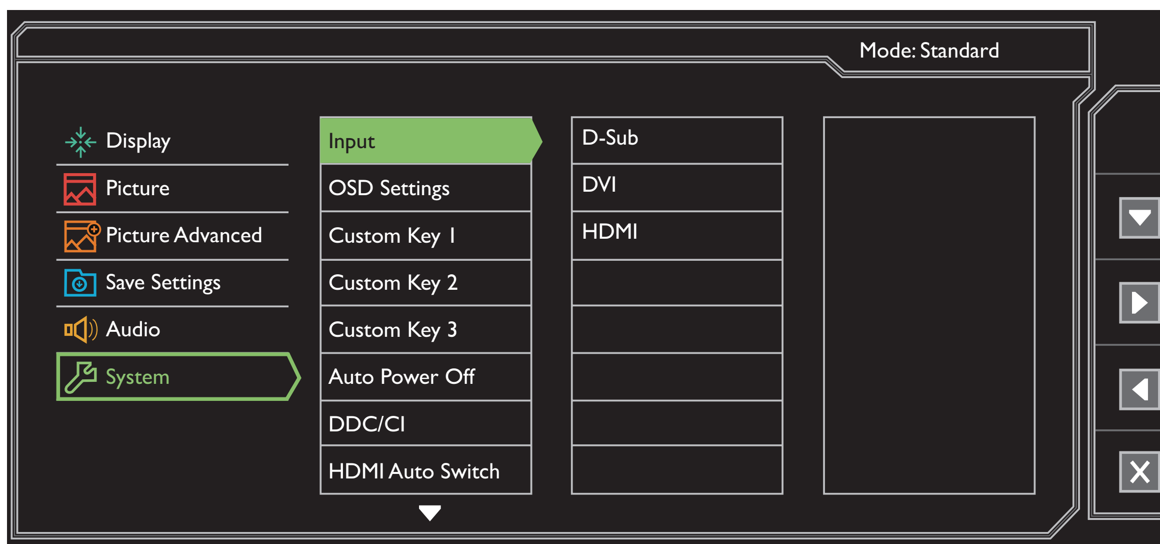


1. ホットキーメニューからメニューを選択します。
2. [▲] または [▼] を使って**オーディオ**を選択します。
3. [▶] を選択してサブメニューを開き、[▲] または [▼] を使ってメニューアイテムを選択します。
4. [▲] または [▼] を使って調整するか、[✓] を使って選択を行います。
5. 前のメニューに戻るには、[◀] を選択します。
6. メニューを終了するには、[✕] を選択します。

アイテム	機能	範囲
音量調整	音量を調整します。	0 から 100
ミュート	オーディオ入力を無音にします。	• **オン** • **オフ**

システム メニュー

選択可能なメニューオプションは、入力ソース、機能、および設定により異なる場合があります。使用できないメニュー オプションは、グレー表示されます。使用できないキーは無効になり、それに相当する OSD アイコンも消えます。



1. ホットキーメニューからメニューを選択します。
2. または を使ってシステムを選択します。
3. を選択してサブメニューを開き、 または を使ってメニューアイテムを選択します。
4. または を使って調整するか、 を使って選択を行います。
5. 前のメニューに戻るには、 を選択します。
6. メニューを終了するには、 を選択します。

アイテム	機能	範囲
入力	ビデオケーブルの接続タイプに応じて入力を変更してください。	• **D-Sub** • **DVI** • **HDMI**

アイテム	機能		範囲
OSD 設定	**言語**	OSD メニューの言語を選択します。 本製品をお求めになった地域によっては、OSD に表示される言語オプションが右図とは異なる場合があります。	• **English** • **Français** • **Deutsch** • **Italiano** • **Español** • **Polski** • **Česky** • **Magyar** • **Serbo-croatia** • **Română** • **Nederlands** • **Русский** • **Svenska** • **Português** • **日本語** • **繁體中文** • **简体中文**
	表示時間	OSD メニューの表示時間を調整します。	• **5 秒** • **10 秒** • **15 秒** • **20 秒** • **25 秒** • **30 秒**
	OSD ロック	モニタ設定が誤って変更されるのを防止します。この機能が有効になっている間は、OSD コントロールとホットキーはすべて無効になります。 OSD コントロールをロック解除するには、キーをどれでも 10 秒間押し続けてください。	

アイテム	機能	範囲
カスタム キー 1	カスタム キー 1 でアクセスできる機能を設定します。	• **画像モード** • **画面モード** • **スマート スケーリング** • **輝度** • **コントラスト** • **スマート フォーカス** • **音量調整** • **ミュート** • **入力** • **Black eQualizer**
カスタム キー 2	カスタム キー 2 でアクセスできる機能を設定します。	
カスタム キー 3	カスタム キー 3 でアクセスできる機能を設定します。	
自動電源オフ	省電力モードで、モニタが自動的にオフになるまでの時間を設定します。	• **オフ** • **10 分** • **20 分** • **30 分**
DDC/CI	PC のソフトウェアからモニタ設定を行うことができます。 Video Electronics Standards Association（VESA）により開発された DDC/CI（Display Data Channel/Command Interface の略）は、既存の DDC 規格を拡張したものです。DDC/CI 機能はソフトウェアを使ってモニタコントロールからリモート診断を送信することができます。	• **オン** • **オフ**
HDMI 自動切換	この機能を有効にすると、HDMI ポートが入力自動選択ループに入ります。有効にしなければ、HDMI は入力選択かホットキーでしか選択することはできません。	• **オン** • **オフ**
解像度についての注意	モニタが新しい入力ソースを検出したときに、推奨する解像度を表示するかどうかを設定します。	• **オン** • **オフ**
情報	モニタのプロパティ設定を表示します。	• **入力** • **現在の解像度** • **最適解像度**（このモニタに最適です） • **モデル名**
すべて元に戻す	すべてのモード、色、その他の設定を工場出荷時のデフォルト値に戻します。	• **はい** • **いいえ**

トラブルシューティング

よくある質問（FAQ）

画像が不自然な色で表示される。

- このモニタのデフォルトの**画像モード**は、RTS ゲーム向けに設計された **RTS** です。他の画像モードを使用したい場合は、**画像の詳細設定**を選択して**画像モード**で設定を変更します。
- 画像が黄色、青、ピンクに見える場合は、**画像と色のリセット**を選択した後、**はい**を選択して色の設定を初期値に戻します。

それでもイメージが正しく表示されず、OSD が不自然な色で表示されている場合は、3 つの基本色のうちいずれかの信号入力が行われていません。信号ケーブルのコネクタをチェックしてください。ピンが曲がったり破損している場合は、販売店にご相談ください。

画像がぼやける。

CD の**「スクリーンの解像度の調整」**リンクの指示にしたがってください。最適な解像度とリフレッシュ レートを選択し、ステップに従って調整してください。

VGA 延長ケーブルを使用している場合。

テストを行うため、延長ケーブルを取り外します。画像の焦点が合っていることを確認してください。合っていない場合は、**「スクリーンの解像度の調整」**リンクの**「リフレッシュレートの調整」**セクションの指示にしたがって、画像を最適化してください。ぼやけは、延長ケーブルでの伝送損失によって自然に発生します。伝送品質に優れた、または内蔵ブースタを備えた延長ケーブルを使用することにより、これらの損失を最小限に抑えることができます。

ネイティブ（最大）解像度より低い解像度でのみぼやけが発生する場合：

CD の**「スクリーンの解像度の調整」**リンクの指示にしたがってください。ネイティブ解像度を選択します。

ピクセル エラーが表示される。

一部のピクセルが常時点灯したまま、または点灯しないままであったり、赤、緑、青、その他の色になったままの場合。

- LCD スクリーンをきれいに掃除してください。
- 電源のオン / オフを切り替え。
- モニタの動作中に常時点滅する画素が少々存在することがありますが、これは液晶技術で一般的に発生する状況で、故障ではありません。

画像が表示されない：

ディスプレイのプロンプトが緑色に点灯している場合。

LED が緑色に点灯し、画面に「**範囲外です**」というメッセージが表示されている場合は、モニタがサポートしていない画面モードを使用しています。モニタがサポートするモードのいずれかに設定を変更してください。「**スクリーンの解像度の調整**」リンクの「**プリセット 画面モード**」セクションをお読みください。

スクリーン上に表示される静止画像に薄い影が写ることがあります：

- 省電力機能を有効にして、コンピュータとモニタを一定時間使用しない状態が続いた場合、低消費電力の「スリープ」モードに入るようにしてください。
- 画像の残像が残らないようにスクリーンセーバをお使いください。

ディスプレイのプロンプトがオレンジ色に点灯している場合：

LED がオレンジ色に点灯している場合は、省電力モードが有効になっています。コンピュータのキーボードで任意のキーを押すか、マウスを動かしてください。それでも解決しない場合は、信号ケーブルのコネクタをチェックしてください。ピンが曲がったり破損している場合は、販売店にご相談ください。

ディスプレイのプロンプトがまったく点灯しない場合：

電源のメイン ソケット、外部電源、メイン スイッチをチェックしてください。

画像がゆがむ、フラッシュする、ちらつく。

CD の「**スクリーンの解像度の調整**」リンクの指示にしたがってください。最適な解像度とリフレッシュ レートを選択し、ステップに従って調整してください。

モニタは最高解像度に設定されていますが、画像はまだ歪んでいます：

異なる入力ソースの画像は、モニタの最高解像度で表示すると歪んだり、引き伸ばされたりする場合があります。それぞれの入力ソースを最高の状態で表示するには、**画面モード**で入力ソースに合った適切な縦横比を設定してください。詳細は、38 ページの「画面モード」を参照してください。

画像が片側に寄ってしまう。

CD の「**スクリーンの解像度の調整**」リンクの指示にしたがってください。最適な解像度とリフレッシュ レートを選択し、ステップに従って調整してください。

OSD コントロールにアクセスできません。

ロックされた状態にプリセットされている OSD コントロールをロック解除するには、キーをどれでも 10 秒間押し続けてください。

外付けスピーカーから音が出ない。

- ヘッドフォンを外してください（モニタにヘッドフォンが接続されている場合）。
- 出力が正しく接続されていることを確認してください。
- 外付けスピーカーが USB デバイスである場合は、正しく接続されていることを確認してください。
- 外付けスピーカーの音量を上げてください（音量が無音になっているか、低すぎる場合があります）。

それでも具合が悪いときは

このガイドの指示に従って調整を行っても問題が解決しない場合には、お買い上げいただいた販売店にご連絡いただくか、servicejp@BenQ.com まで電子メールにてお問い合わせください。